

には、山形県若者就職支援センターなんか、若者限定というのですかね。若者に対するハローワーク的な何か動きが出てきたということ聞いております。ことしの6月からのようですね。酒田にもできておるようです。長井市の場合は、勤労青少年ホームと職業訓練校というのですか、訓練センターが併設になっています。これは非常に珍しいと聞いております。職業訓練、もしくはハローワーク的な職業あっせんというのですか、それと青少年ホームの活動をどうか一体化というか連携を組んで何かできないかなと私なりに考えております。その全国的なモデル地域になれば、何か新しい動きが長井市から発信できるのではないかなと思いますので、もう少し私も勉強して、また時間をいただいて質問させていただきますので、ぜひ検討していただくようお願いいたします。

それでは以上になります。ありがとうございました。

蒲生光男議員の質問

鈴木良雄議長 次に、順位2番、議席番号9番、蒲生光男議員。

(9番蒲生光男議員登壇)(拍手)

9番 蒲生光男議員 私が通告しております質問事項は3点であります。順次質問いたしますが、市長以下当局の皆さんからは、適切かつ明瞭な答弁をお願いをしておきたいと思っております。

17日間にわたるアテネオリンピックが閉幕し、熱い戦いと興奮を日本国民にもたらしめました。だれもが金メダルを疑わなかった井上康生選手はまさかの一本負け、浜口京子も銅メダル、とんでもないことが起こりそうだとアナウンサーが形容した女子800メートル自由形では、柴田亜衣選手が金メダル、私の所属するトライアス

ロンはもしかするとメダル、という期待は実現せず、男子田山が自転車で一時トップに出る、あるいはランでは6位でスタートするも後半失速し13位に終わりました。しかし、果敢に挑戦する田山の評価は高いものでした。三宅義信強化本部長は「戦う集団」を目指してアテネに乗り込みましたが、その片鱗をかいま見たものと評価しております。努力は正当に評価される。ハンマーの室伏選手が繰り上げ金メダルで、過去最高のメダル数で閉幕をしたわけであります。

最初の質問に入ります。このSWING GIRLSの封切りが11日から一斉に行われます。28日、この映画の試写会に行きましたが、試写会前の舞台あいさつに矢口監督やGIRLSのメンバー全員の話聞き、試写会終了後、GIRLS&A BOYの生演奏を聞いてきました。はっきり言って感動ものでございます。議長の許可をいただき、映画のチラシを配布させていただきました。新聞記事もあわせて配布させていただきましたので、ごらんになっていただきたいと思います。鈴木友子役の上野樹里、主演女優ですが、NHKの朝ドラの「てるてる家族」の3女秋子役に出ておりましたから、ご存じの方も多いと思います。

矢口監督は、あいさつの中で「フラワー長井線がピンチだと聞いていますが、この映画がきっかけとなり、存続できれば」と話をしておりました。ロケ地が置賜、フラワー長井線が白兔あたりを走る姿や、特に長井弁を使ったやりとりがまことにコミカル、そしておもしろく、おかしく、女子学生がジャズにはまり込んでいく姿が何ともほほ笑ましく、圧巻は最後の演奏会でのすばらしい演奏でありました。だれしものが魅入ること間違いのないと思います。

ピンチにあるフラワー長井線の後押しになると間違いのない私ではありますが、市長も27日、試写会に行かれ、配給会社や関係者と懇談をしてこられたということでありますので、感想と

今後の取り組みに対する考え方を聞かせていただきたいと思います。

上野樹里さんほか役者の皆さんは、タスパークホテルに滞在、アズム館での撮影など、長井のPRにも一役を担うものと思います。この映画をつくった矢口監督は、火曜日、きょうの9時から放映されておりますが、「ウォーターボーイズ2」をつくることになりました「ウォーターボーイズ」をヒットさせた監督で、プロデューサーの関口大輔さんは「踊る大捜査線・レインボーブリッジを封鎖せよ」、これはフジテレビジョンの製作で東宝の配給であります。数多くのヒット作品を手がけた方でございます。35歳だそうであります。

2003年1月、シナリオのイメージを固めていくために、映画の舞台となる場所を求めて、あちらこちらを訪ねていくことを「シナリオハンティング」と言うそうですが、小さな田舎町の高校生の物語を東北でやりたい、方言でやりたいという希望に沿う旅が2003年1月に始まったとのこと。まったく音楽には縁もゆかりもない女子校生たちが、なぜか無理やりビッグバンドをやるはめになる。悪戦苦闘しながら次第にジャズの楽しさを知っていくというストーリーであります。

「2002年12月、映画を探して」これは矢口監督の記事から抜粋させていただきました。

長野県蓼科高校に行きました。12月の長野はすっかり冬。途中、雪の中の本道で監督の車がエンコしてしまうというハプニングもありながら、ようやくたどりついた蓼科高校では、寒さに頬を赤くした生徒さんたちが出迎えてくれました。まずは練習を見学。そこでどんな曲を聞いたのか、今ではもう思い出せないのですが、それでも20人弱のメンバーが演奏する音の迫力に圧倒されたことははっきりと覚えています。それまでこんな間近で管楽器がバリバリ演奏されるのを聞いたことがありませんでした。ころ

ころと丸い顔をした女子高校生たちが、その丸い顔をさらに丸くするようにほっぺたを膨らませてトランペットで高音をピーッと吹いている。ほっぺたの赤い女子高生とジャズ。なるほどこれなのか、と監督が抱いている映画のイメージがその片鱗ながら見えたような気がしたのでした。

これはシナリオハンティングというところから抜粋したものです。

東北では、各地の高校にお邪魔して、生徒の皆さんにいろいろなお話を聞きました。吹奏楽部の皆さんには練習のやり方、雪国ならではの苦労話、あるいは普段の生活。どんなところで遊んでいるのか、登下校の様子などなど、そんな話を聞きながら、一方では彼、彼女らが友達と交わす何でもない言葉に耳を傾けるのでした。どんな言葉使いで話しているのだろう、この辺の方言ってどんなのだろう。

そんなふう取材しながら、まちの風情を見て回る。山合いのまち、川のあるまち、小さなまち、大きなまち。神奈川県に生まれ育った矢口監督は、これだけの雪景色を見るのは初めてでした。ふぶいた日もありました。そうすると、視界一面が真っ白になり、果てのない真っ白な世界、東北の雪景色を堪能しつつ、ストーリーの種は膨らんでいくのでありました。

東北一円を回ったということではありますが、最終的に撮影場所は山形県置賜地方となりました。それまでに合計3回のシナハン、いわゆるシナリオハンティングが行われたということでもあります。

フラワー長井線の直接の支援にはありませんが、しかし、多くの人たちに長井を含めた置賜を舞台とした「SWING GIRLS」を見てもらうことが、結果として後押しにつながるものと私は思います。例えば、長井市民の3分の1の1万人に見てもらおうキャンペーンでも始めたらいかがでしょうか。何か市民と一体とな

って事を起こせば、やがてテレビドラマ化にもつながります。市長の見解をお願いしたいと思います。

全国で、長井の方言やフラワー長井線が走るドラマが大ヒット、ロケ地に選ばせるすばらしい環境。想像しただけでもわくわくするではありませんか。商工観光課長については、再質問でお聞きをいたします。

次に、破談の合併、自立計画を本気で策定せよ、に移ります。

二市二町の合併構想が破談になったことで、長井市はまさに自立の道を真剣に、しかも早急に模索し、策定しなければならない状況となりました。思い起こせば、市長は一市三町の合併構想から始まり、議会でも二市二町や川西との協議、飯豊との懇談、白鷹町議会への打診、昨年の二市二町の破談、そして今回は満を持しての長井・南陽・川西・飯豊二市二町合併検討協議会は、任意協議会にも移れず破談へと突き進むことになったわけであります。

長井をはずして、飯豊・川西・南陽の首長・議長を含めたごそごそ懇談は、一体何であったのでしょうか。ばかばかしくて話にもならないというのが私の心境であります。市長は今回の破談劇について、原因などどのように所見を持っているのか伺いたいと思います。

合併はまことに難しい。南陽が二市二町に4%、川西が1.2%、大体合併に前向きでなければ、ろくな説明もしないし、必要性も浸透しないわけですから、アンケートの結果だけがよく出ることはないと思います。首長や議会がどう考えているかが大事だと思います。いずれ財政面からも窮していくことは明らかだと思います。

長井市は他の市町のことなどはともかく、長井市が自立でやっていけると言える裏づけをきちんと確立できる「自立プログラム」を策定していくべきだと思います。7月8日、山形新聞

記事「厳しい財政情勢の中、市町村として生き残れる自信はあるか」に対し、酒田・新庄・村山・長井・白鷹の5自治体の首長が、自信ありと回答しております。ほかの自治体のことはともかく、目黒市長が自信ありと答えるに至った要因は何か。自立計画のプログラムを策定する日程計画はどのように考えているか、お答えください。

次いで、企画調整課長に伺います。さきの質問をした我妻議員からもありましたが、環境都市市長井を標榜しているにもかかわらず、上辺ばかりの活動しかなされず、本来の仕事の中の改善にまで波及していないばかりか、今後計画が見えてきません。担当課は一体何をしているのか、職務怠慢と言わざるを得ません。6月議会でも言いましたが、ファイリングシステムの改善により不要なもの、不休なものの分別をすれば、庁舎内のスペースはかなり確保できるはずです。

私は、平成11年6月、ISO14001の取得について提言して以来、色別管理・ファイリングシステムなど環境システムに沿った提言をしてまいりましたが、何ら見るべきものもなく、評価に値する取り組みもありません。一体担当課として何を考えているのか、やる気があるのかなのかこの際はっきりさせていただきたいと思います。自分の課で取り組んだ経緯があるやに聞いていますが、言い逃れや弁解でなく、やるのであればいつ具体的にどうやるのか、それをはっきりさせていただきたいと思います。

次に、さきにも言いましたが、アウトソーシングをするのはいいいとして、職員の定員管理について、合併破談など最近の情勢からも新たな「定員適正化」計画を持つべきだと思います。来春の職員採用予定があるようですが、何人採用して、どのような職務に対して配置するのか、助役から答弁を求めるものであります。長井市の人件費は25億8,000万円ですが、西置

+

賜行政組合負担金に含まれる人件費が約4億6,000万円ありますので、合計30億4,000万円というのが長井市の人件費の正しい数値だと思います。一人の職員を雇用すると、生涯賃金は何億にも相当します。私は、まず長井市の自立プログラムを策定し、年次別のアウトソーシング計画を出し、正職員の行う業務の範囲を限定し、その上での採用計画を持つべきだと思います。

市長は、20年後に職員を半分にするとはいいましたが、民間給与から大きくかけ離れた実態を改め、長井独自の人事管理システムを策定し、民間給与相当を上限とする給与形態に改めるなど、大胆な改革を行わなければ、いずれ長井市も行き詰まると私は思います。

次に、17年度及びそれ以降の財政動向について伺います。

16年度予算及び今後の財政運営について、財政課長の答弁を求めるものであります。16年度当初予算は、基金から1億3,000万円、野川土地改良区・慈光園の負担金の立て替え、財政調整基金など、年度分年度内取り崩しなど、ありとあらゆるやりくりで予算編成をしました。このままでいけば、来年度、いわゆる17年度予算編成は極めて困難を予想されておりましたが、7月28日、2004年度地方交付税自治体配分が決定され、公表されました。結果として、鶴岡は酒田・村山・長井市が、13市の中で増額配分される形となりました。長井市の場合、当初予定していた交付税と比較して4億4,371万9,000円増となるうれしい誤算でしたが、社会福祉費が大きく寄与したものとなっています。うれしい誤算というべきだと思います。当初の予算に対し、2億円の基金積み立て、基金借入れ中止をする計画になっております。交付税の算出について事前にわからなかったのか、このたびの密度補正というものが、来年度はどうなるのかわかっていれば、財政課長に説明をお願いしたいと思います。

また、飯田監査委員から、収入未済額や不納欠損額について言及がありました。由々しき問題だと思います。土地開発公社でも明らかなように、先送りをし続けた結果、工業団地の、いわゆる産業道路買い戻しで、用地費と造成費を合わせ3,850万円のもの1億1,000万円の利息を含めた1億6,100万円で買い戻しをすることになったわけであります。本市の財政構造上どこに問題があるのか、財政課長の答弁をお願いしたいと思います。

さらに、17年度以降の財政見通しはどうか。来年度国の予算における地方交付税総額は今年度並みとの一部報道もあるようですが、国家財政はますます混迷を深め、透明性が失われつつあります。自主自立の道筋を模索し、努力を惜しまず、行財政改革を進めてきた長井市に対して、努力してきた分の交付税などにおける見返りがあると、努力は正當に評価される社会システムが構築されるものだと私は思っております。

改革派市町村サミットでは先進事例を学び、模倣しても、自立したまちづくりを進めていくことが必要だと思います。財政課長には17年度以降の見通しを、市長には改革派市町村サミットの、この問題に対する取り組みで何か進むべき方向性が見えていればお答えをいただきたいと思います。

以上で、壇上よりの質問を終了させていただきます。ご清聴まことにありがとうございました。（拍手）

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 お答えをいたします。

まず「SWING GIRLS」についてですが、私も試写会を見させていただきまして、楽しかったと、それからまた見てもいいなというふうに思いましたね。また見てもいいなというのは、やはり大事じゃないでしょうか。おもしろい映画というのは、二度でも三度でも「ザ・シークレット」でもあれでも、洋画でも

そうだと思いますしね。「ジャッカルの日」とか。やはりそういった意味で言うと、あれは音楽映画ですが、全員が吹き替えなしでやっただ。そういうことについての、いきいきとした躍動感がありますね。それから、ジャズそのものが、もう日本の場合には相当ポピュラー化した。「りんごの木の下で」なんていうのは、もう我々も子供のときから聞いているわけでありまして、「A列車で行こう」とかいろいろなジャズというのはアメリカから来たものだなんていうのではなくてきています。そういったあれで、しかもほかの音楽のに比べれば制約がありませんね。だから、古い楽器であろうと何であろうと、人数が何人でなければいけないとかって、そういうのを取っ払って、やりたい人はやっていくと。楽しかったらどんどん進んでいくと。今、若い人は、音楽について非常に興味を持っていますし、それをやってみたいという意欲もあるわけですし、携帯電話の着メロなんていうのも、べらぼうにブームなわけですから、音楽について非常にこだわりを持っている。そういったところを突かれて、非常に楽しい映画だったというふうに思います。

これはやはり、これを使わないという手はないと思いますね。まず楽しい映画だったということは、市民の皆さんなるべく見ていただけるようにしたいと。役所内部でも福利厚生会等が応援をしてくれるというので、相当程度見に行きます。ただ、やはり米沢とかあれですから、9月11日はね。こっちに借りてこれないかと、50周年記念でと。私、早速懇談会の席上で、配給会社なりあれについて言いましたら、「ウォーターボーイズ」はさっぱり予測していなかったけれど大ヒットしたと。今度もやはり柳の下のだじょうで、もっともっていけるかもしれないというので4週間から6週間、「ウォーターボーイズ」は98館だったのが168館東宝系で一斉にやって、1カ月半ぐらいやるのだと。それ

を見た上でないと貸し出さないということでもありますから、ぜひ50周年の年でもありますし、そこで連絡をとりながら、やはり山形や米沢といくと、ちょっと限られてくると。1万人というのなかなか大変。蕨野行や特に清兵衛ですね。これなんかは市民文化会館でやったわけですから、やれるように努力をしてみたいというふうに思います。そして、なるべく市民の皆さんにも行っていただけるようなPRをしていきたいと。我々自身も行きたいと。私も2回3回と行ってみたいと。

なお、やはりテレビドラマ化なのですよ、これは。映画は、ヒットしたといっても80万から100万ぐらいでヒットなのですね。レコードと同じですよ。ところがテレビは、視聴率というのは人口に掛けるのだそうですね。1億2,600万の20%を「ウォーターボーイズ」がテレビがあったということ、2,520万ですから。これはもう25倍、30倍の話であって、「新選組」なんかも余録みたいなものに会津若松が、今観光地が急にふえて何だと思ったら「新選組」だったと、この間市長が言っておりましたけれども、やはりテレビドラマ化、これは2年か3年先だそうですが、これをぜひやっていただいて、なお長井線なり、長井線から見た白兔駅のあたりが一番長井線ではありましたですよ。ロケ地であったそうです、シナリオを見ると。そういった、荒砥もそうですが、長井線のすばらしさ、それからアズム館の周辺もそうですね、ありましたから、これをテレビドラマ化までもっていけるように、こちら粘り強く働きかけたいと。関口プロデューサーとそんな話をしていたら、「あんたも特異なキャラクターだから出演させてやるから何がいい」と言うから、竹中直人はそれは無理だけれども、小日向文世ぐらいはしてもいいぞと。市長、大体終わる2年半後ぐらいですか、というようなばかな話をしてみましたが、ぜひひとつ、なかよくなりましたし

+

たので、いろいろな機会を通じてPRをしたいというふうに思っているところであります。

それから、こっちやれるようにしたら、教育長でお答えさせてもいいのですが、小学校の高学年とか中学校、高校生にも、教育の一環としても含めて、あの映画を見てもらうということは必要だと思いますね。これは子供たちは非常に喜ぶのではないかと、楽しむのではないかと思います。最後の、おっしゃるとおり、あれは感動的な場面でありますし、もう全国でのSWING GIRLSアンドー人のボーイズで音楽の公演もやろうかなんていう話もあるそうですから、やはりそういういろいろな意味で子供たちにも見てもらえるようにしたいと思います。

破談の原因、これは相手のあることです。しかし、私は13年からこの3年間、合併はやはり18年までやろうよということで、山形新聞の調査によると、72.7%が賛成でしたよ、長井市は、18.4%が反対、ちょっとサンプルが小さいのではないかと人もいますが、それは選挙なんていうのはサンプルが小さいですが、大体当たりますよ、あれは。みんな参考にするわけですから。私はやはり、長井市の場合には、市民の皆さんも相当理解が進んで、議会の皆さんからも一定程度、特に今回の場合で言えば、必ずもう法定協議会にも上がるという議会の皆さんのあれもとれたわけですから、そこところは他の市町村の皆さんが、やはり米沢は無視できないとか、市民の声がなかなか大変だったと言われれば、相手のあることでありますので大変でした。しかし、私はやはり、これからは合併を無視していくということはいかないというふうに、今でも思っております。したがって、また新法ができましたけれども、22年あたりを中心に、もう一遍動きが出てくると思いますし、いずれやはり置賜は一つというところ

を目指していかなければ、私は市民の皆さんに効率的な行政サービスを提供していくということについては厳しくなると思います。特に小さい自治体は、我々も含めてですが、財政上非常に厳しくなってくるということは、しっかりと認識していかなければいけないし、ここは不撓不屈で、一歩前進二歩後退でも初志貫徹で頑張っていかなければいかなのかなというふうに思っております。

なぜ自立の自信があるのかという。ちょっと西置賜行政組合の五億何千万も人件費を含めるというのは、ちょっと私は筋が違うと思いますね。では病院の人件費も含めるのかと。あるいは置賜の人件費はどうなんだと。それはそれで分担金を出しておりますし、そこで完結している話でありますから、私はやはり、今自治体が44市町村で、税収と人件費を比較して、長井市は5億5,000万円ほど、とにかくプラスになっているという状況は自信を持っていいと思います。特に2001年の統計ですが、山形新聞の去年の11月16日に出た、いわゆる市民所得と企業の利潤を加えた経済水準では、44市町村で7番目でしょう。置賜でトップですよ。米沢よりも上ですよ。しかも、上の山形、東根、天童、寒河江、酒田、鶴岡とか10万人都市を入れてもそれを私は射程距離可能だと思うのです。ベスト5に入れるし、いずれ山形に次いでぐらゐのある意味では目標を立てながら、本社機能も結構持っておりますし、置賜の中心的位置にもありますし、私はやはり経済がしっかりしてきて、雇用が出ていけば、雇用がもっともっと需要していけば、私は今でも44市町村中九つの自治体しか税収で人件費が払えるところはないわけですから。税収の倍も人件費を払っているところが結構多いわけですから。そういった意味で私は、長井はしっかりと基本的にも自立をしながら、しかし、大きな意味での合併もしっかりと見据えていくというふうにしていくべきだ

とっております。それにはやはり自立計画をしっかりと立て、それから採用もかつてのように12人で33人となったとかということにならないように、やはりここの定年退職される方、あるいは勸奨で応じていただける方の3分の1ぐらいずつをちゃんととっていけば、私は15年でかつての400名が200名までになるというふうに思っておりますし、そのほかにも図書館等、あるいは窓口等、パートナーを志木市のいろいろな意味でこれから検討していけば、これは可能だと思いますから、これは18年3月で第一次の行政改革が一応の区切りになるわけですが、そのときにしっかりと第二次というか、長井の基本的な運営についての計画をまとめるよう、鋭意事務局を督励していきたいと。叱咤激励していきたいというふうに思っているところであります。

なお、17年度以降の見直しで一つだけ申し上げたいのは、この間東北市長会で自治省の課長が、17年度以降にいろいろな意味で四つほど言いましたが、一番最後に、交付税は前年度と同水準に保ちたいと、麻生プランでは。しかし、さらに交付税算定に行革努力が報われる要素を導入すると、こういうふうにはペーパーで回りました。これは東北市長会でも、全国市長会でも、いろいろな委員会でも、私が、これは東根市長なんかも特にそうなのですが、行政改革の努力をしたから、かえって交付税を減らすなんてばかなことをしたらだめだと。例えば2億の共同調理場の改革が約7,000万円になると。1億3,000万円は何だ。1億3,000万円はむしろ交付税に上乗せして、こういうふうに行っているところには奨励的な意味で、むしろプラスにしなければいけないというようなことを申し上げてきたのが、多少でも具体的なペーパーになって、方針になってきているわけですから、やはり行政改革というのは大切だし、それを一緒にやっている行革のサミットですね、改革派のサミッ

トも、なかなか忙しくてまだ2回で、3回目はなかなかできないのです。かなり提言をしました、国に向かっては。しかし、もう1回は、我々自身がやっている先進地に学んで、一番効率的な自治体とはこういうものだと、モデルをばんと出して、そのうちで長井はどの辺をやっていると、志木はどの辺をやっているというようなことでもやってみたらどうだと。福祉の部門でも、サービス部門でも何でも。そういった話を提言しておきまして、ぜひもう1回というか、これからも連携をとりながら、改革派サミットで主張し、さらに全国市長会等でも主張しながら実践をしていくというふうにしたいと思っているところであります。

財政構造上の問題等につきましては財政課長、それから財源につきましては課長から答弁をさせたいと思います。

以上です。

鈴木良雄議長 長谷部宇一助役。

長谷部宇一助役 お答え申し上げます。

今、市長が答弁申し上げたとおりでございますけれども、来春の予定職員につきましては、行政職のみという形で、退職者の3分の1を予定しているところであります。ただ、今後の方針でありますけれども、今、事務事業の棚卸しをやっています。これ9月いっぱいには調査表がまとまりますので、これを分析しながら、市で直接やる部分、それから……。

(「いつまで」と言う者あり)

長谷部宇一助役 9月いっぱいです。9月いっぱいには調査表が出ますので、それによって市が直接やる部分、それからアウトソーシングでやる部分についてきちんと精査をしながら、次回の行革の中でそれを生かしていくという形にしていきたい。

以上です。

鈴木良雄議長 大滝昌利教育長。

大滝昌利教育長 先ほど我妻議員の方から、第

+

1 番目の質問で緊張しているということでありましたが、私、きょう初の答弁で、それ以上に緊張していますので、よろしくお願いをしたいと思います。

蒲生光男議員の多くの市民に見てもらうための方策ということについて、私の方からお答えをしたいと思います。

「SWING GIRLS」の試写会に行った二、三人の人からちょっとお話を聞いたのですが、見慣れた光景もあって、親しみの持てる、感動的な映画であったというふうに聞いています。恐らく「ウォーターボーイズ」を見ている子供たちには特に興味を持っているのではないかなというふうに思います。それだけに多くの市民に見てもらいたいという願いは同じようで、幾つかのグループで前売券の販売に積極的な動きがあるようです。

教育委員会としては、直接かかわってきたわけではないので特別な動きはしていませんが、ご承知のように、先ほど市長の方からもありましたけれども、企画調整課の方で隣組回覧を通して前売券販売のPRをしていますし、庁舎内でも各課ごとに前売券の取りまとめをしています。

また、新聞の折り込みで、9月4日発行のジャーナル長井でもPRをしていました。タスの入口を入った半坪ほどの場所に、商工会議所の方で写真を展示した「SWING GIRLS」のコーナーをつくって前売券の販売の呼びかけをしているようです。また、蒲生議員も婦人会の集まりの中で「SWING GIRLS」についてお話をされたということもお聞きしていますし、市長も西根地区の運動会のあいさつの中で「SWING GIRLS」の話をしていきました。

そういういろいろな方の努力によって、興味・関心のある市民の方には、広がりを見せているのではないかなというふうに思いますが、

今回の封切り側は、さっきもありましたけれども、市外の映画館での上映となりますので、小・中学生は原則的には保護者同伴でないと見に行くことができません。興味のある多くの小学生に見てもらうためにも、また、多くの市民に気軽に見てもらうためにも、市民文化会館での上映に期待をしているところです。

今回ファーストランは、配給権の問題があったりで地方劇場では上映できないそうですし、評判のよい映画ということで、ロングランになりそうだというのですが、「たそがれ清兵衛」とか「蕨野行」を上映した長井映画を見る会も、早くから文化会館での上映に動いているようですので、時期的には遅くなると思いますけれども、その際には教育委員会としても各小・中学校に積極的に働きかけをしていきたいなというふうに考えているところです。

以上です。

鈴木良雄議長 中井 晃企画調整課長。

中井 晃企画調整課長 それでは、私からISO14001の取り組みにつきましてお答えをいたします。

ご承知のように、ISO14001は、環境に視点を置いた経営システムを導入するということが目的になっております。このため、トラブルが発生した場合に、環境への負荷が大きくなるおそれのある事項につきまして優先して、未然防止策ですとか、発生時の緊急対応策を講じることが求められております。また、業務全体にプラン・ドゥ・チェック・アクションといった仕組みを定着させるということが、もう一つの大きな目的になっておりまして、こうした考えに即しまして、現在の業務を点検いたしまして、対応策が講じられるようなプログラムをつくっております。

現在取り組んでおりますプログラムでございますけれども、これまでも報告はさせていただいておりますが、認証を取得いたしました平成

13年時に作成をいたしました3カ年計画のプログラムに従いまして実施中でございます。17年度からの新しい時期の3カ年計画を今後つくりなかなければならないという時期になってきておりますけれども、ファイリングシステムについてでございますけれども、ファイリングシステムについてでございますけれども、ファイリングシステムの効果というのは、事務効率を上げるという意味で大変有効であるというふうなことは認識をしております。ただ、ISOのプログラムとして位置づけをしますには、企画調整課だけでは進められない状況になっております。文書管理の所管課でありますとか、関係課の協議を行った上で、行革の大綱に基づく実施計画等に位置づけをするなど、そうした前段の作業も必要になってきております。そうした調整を踏まえた上で取り組みが必要ではないかというふうな考えをしております。

なお、以前のお答えでもさせていただいておりますけれども、現在、電子政府化への移行が進んでおります。そういう意味では、企画調整課といたしましては、電子政府化への移行が進もうとしております時期にあわせまして、電子文書でのファイリングがより効果的なのではないかというような考え方をしております。ただ、議員のご指摘にありましたように、庁舎内の文書の整理を行うということは、そのISOを取り組む以前の問題でございまして、そうした対応というのは当然必要な事項でございます。それらは各課のプログラムの中で、できるだけ反映させていただけるような形では、企画調整課としてお願いをしたいというふうに考えております。

鈴木良雄議長 松本 弘財政課長。

松本 弘財政課長 まず交付税の算出について事前にわからなかったのかという点について、お答えをいたします。

当初予算編成時の地方交付税の推計につきま

しては、まず平成15年12月に示されました地方財政計画における地方交付税の伸び率などを参考に、基準財政収入額、基準財政需要額の各費目の推計を行い、その後に当該年度における本市の密度補正や事業費補正などの増減事由を勘案して、最終的な交付見込額を推計したものでございます。平成16年度の特徴点の一つとしまして、三位一体の改革に伴う国庫補助負担金の一般財源化があり、児童保護費等負担金のうち、公立保育所運営費分につきましては、保育所の入所人員に応じまして、地方交付税の基準財政収入額に算入されることとなったわけですが、この時点での改正の対象となる施設は、あくまでも従来の国庫補助負担金の対象となる公立保育所に限定されておりました。

その後、平成16年2月19日付で総務省財政局調整課長内かんが、2月24日付山形県総務部長通知によりまして通知されるわけですが、この通知によって密度補正に用いる数値の変更というふうなものがございまして、今回の算定が行われたわけですが、したがって、当初予算編成の時点では、今回の密度補正によって長井市の交付税の基準財政需要額がこのように伸びてというふうなことは想定できませんでした。

次に、この密度補正が来年度どうなるのかというふうなことでありますけれども、今申し上げました総務省財政局課長内かんにおきまして、この密度補正が来年度以降どのようになるかということについては、全く触れられておりませんのでわからないというふうな状況でございます。

次に、本市の財政構造上、どこに問題があるのかというふうな点についてお答えを申し上げます。

本市では、昭和50年なかばから、社会福祉資本の整備を集中的に行ってきたというふうなことから、ご存じのとおり、一般会計を初め、公

+

共下水道事業特別会計などにおいて、市債残高が累増し、公債費が増数してきたというふうなことがございます。ほかに他団体と比較した場合、人件費及び扶助費等の割合が高いというふうなことから、財政の硬直化が著しくなってきたわけでございます。

また、土地開発公社に取得を依頼し、再取得することなく公共施設用地などとして供用してきた分まで含めると、赤字債権準用団体に転落してもおかしくないような状況にありました。

このような状況を踏まえて、平成12年度に行財政改革大綱、行財政改革推進実施計画、財政計画などを策定いたしまして、その改善に取り組んできたわけでございますが、この財政健全化の一つといたしまして歳入の確保というふうなものがございます。

具体的には、行財政改革推進実施計画にも示されましたように、課税客体の正確な把握を行い、市税収納率の毎年0.3%向上を目指すことや、適正な受益者負担を求めるために、原則といたしまして3年に1回の見直しを実施するなどが計画されておりますけれども、結果的には近年の経済情勢などにも影響されまして、監査委員がご指摘のように、市税、税外収入とも、収入未済額が増加しているというふうな状況でございます。

歳入の確保につきましては、健全な財政運営を行う上で不可欠なことでございますので、今後より一層努力していかなければならない事項であるというふうに認識しているところでございます。

次に、17年度以降の財政見通しはどうかというふうな点についてお答えいたします。

先ごろ決定されました総務省の2005年度地方交付税の要求額によれば、入口ベースでは前年度比1.7%減、出口ベースでは前年度とほぼ同額というふうなことでございますけれども、これに臨時財政対策債を加えた実質的な交付税

の総額につきましては、3.7%の減というふうなことでございます。

ただ、地方税の増収などが見込まれることなどから、臨時財政対策債を含めたゼロ5年度の一般財源規模につきましては、ほぼ今年度と同じような水準を確保できるというふうなことで、総務省の方では試算しているところでございます。

一方、三位一体の改革をめぐる情勢につきましては、地方6団体が国から要請されておりました国庫補助負担金等に関する改革案を取りまとめ、小泉首相に提出しておりますけれども、政府の方といたしましても、経済諮問会議などにおきまして総務、財務両大臣、それから民間議員などが、それぞれの改革案を提出しておりますところであり、今後、11月というふうに見込まれているところの改革の全体像の作成に向けて協議が始まることになるわけであり、それぞれ主張の違いが現在鮮明になってきております。

このようなことから、総務省におきましても、交付税の概算要求額につきましては、三位一体の全体像を見ながら要求を変更するというふうなことがございますので、まだまだ先行きが不透明な状況であるというふうな言わざるを得ない状況になっております。平成17年度以降の財政見通しにつきましては、このようなことを勘案しながら17年度中に18年度以降の財政計画を策定して、新たな財政健全化の方向を模索しながら、その健全化に努めていきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 いろいろお答えをいただきました。

財政課長からいただきました負の欠損額、あるいは収入未済額等々につきましては、いずれの機会でもまた質問させていただきたいと思っております。

それから、自立計画については、9月で棚卸しの結果が出るということですから、かなり早い機会に、いずれ年次別のアウトソーシング計画が出るというふうに考えてよろしいわけですか。その点まずいかがでしょう。16年度内に出るという認識でよろしいのですか、市長。鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 これは素案というか、私はこれとこれとこれはやりたいというのはありますよ。しかし、やはり全体のバランス等も考えなければいけませんから、ほかの人の皆さんの意見も聞かなければいけないし、そうですね、やはり16年度中はちょっときついなという気がいたします。やはり17年度に本格的に詰めて、調整していかなければいけないのではないかと。しかし、18年の3月の半年くらい前までは、全体の構想ができるようなというふうにしたいと思っております。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 ぜひそこら辺は早急に詰めていただくようお願いをしたいというふうに思います。企画調整課長の答弁では、私は全然納得しておりませんので、それをまたいずれかの機会にあわせてお聞きしたいと思っております。

まずは「SWING GIRLS」の話しましょう。長井のロケは、白兔駅のちょいと来たところで車がとまるシーンがあって、そこにバスが横づけになるのですね。その前に、この試写会に皆さんどれだけ行かれましたか。手を挙げてください。

(挙手なし)

9番 蒲生光男議員 だれもゼロ。市長だけ。話が見えないですね。まずそこがあるのでしょ。

それから、長井北工業団地の中をバスで通過するのが出てきます。これは北工業団地へ通過したというのはちょっとわかりません。それかに、タスパークホテルに例えば泊まったことはご存じですが、アズム館ですね、音楽教室があ

って、たぬきが出てきて、そこの教室がシーンになりますか。三菱自動車販売、その反対側。それから、時庭のヘアエステ・オアシスもなっています。そのほかに、あやめ公園駅の陸橋の下の川があるのですが、ここもシーンの対象になったのですね。田んぼにガールズが入って、ルーズソックスを洗うシーンがあったでしょう。そこの川がここかどうかわかりません。そういうことを考えてまいりますと、かなりこの長井市がロケに加わっているということでもあります。タスパークホテルのプールの見える部屋があるじゃないですか。あそこはスタッフルームになったのです。これを再現しようという話があります。まずロケについてはそういうこととなりますね。

映画の配給なのですが、1年間に、私聞いてきたことをずっとこれから言います。1年間に300本ぐらい大小合わせてつくるのだそうです。その中で全国展開される映画は20本ぐらいなのです。しかもヒットするという作品は、3本から4本、多くてだそうです。今回のSWING GIRLSはそれをねらっているということなのです。SWING GIRLSアンドABOY。これは全国で調べましたらば、劇場の数ですね、167館で同時上映です。「ウォーターボーイズ」は99館というふうに聞いています。ですから、いかにこの東宝、フジテレビジョンは力を入れているかということになります。これは内容もよくて、シナリオもよくて、リスクが伴ってもやれるという判断が、その前提にあるということらしいです。

この関口大輔というプロデューサーは35歳で、フジテレビジョンの有名な方なのですが、この方の祖父が白鷹町出身なのだそうですね。それから小形雄二という東京乾電池の社長、これは柄本明、ベンガル、蛭子能収、小日向文世、友子のお父さん役になった方、それから渡辺えり子、山崎ハコなどのタレントが所属している会

+

社ですね、この社長。アルタミラピクチャーズという会社の専務ですが、この方は白鷹町出身なのです。ですから、白鷹町とこの映画の関係者はチャンネルを非常に持っているのですね。観光協会に馬場さんという方がいらっしゃるのですが、この方が非常に一生懸命になっています。ぜひ、その方を通していろいろ発信をしていった方がいいと、私は率直に思います。

やはり長井線がなくなるということですね。これは地図から消えるということですから、これはどういうことかということをよく考えていかなければいけないと思うのですよね。子供たちに対してもそうです。ふるさとへの帰属意識、これがなくなっていくということは、衰退への道へ進むということになるのではないかなというふうに私は思っております。

それから、JR東日本仙台支社長、清水慎一さんという方は、47年の卒論のテーマに「バス路線の転換」というのを取り上げたのだそうです。この支社長に白鷹町長が山鉄の支援要請に行ったと。支社長は長井線については全面的にバックアップしましょうと言ったと。ただ、内容をどのようにしてほしいかということがまだないということですね。

それから、この間、三日にSWING GIRLSプロジェクトミーティングってあったのですよ。これは長井市から8人の方が行っていますが、商工観光課、企画調整課、観光協会、だれも入っておりません。呼ばれなかったのですよね、正直言うと。これはどういうことかと、よくよく考えてみななければいけない。

この中でどういうことが話し合われているかということなのですが、今いろいろな仕掛けをしようとしています。できるだけ浅くて広いネットワークをつくっていこうという、そういうプロジェクトチームになっておりまして、例えばフラワー長井線に「SWING GIRLS」というロゴといますか、これを入れるの

は東宝の許可を得たというふうに聞いていますが、それだけではやはり人は乗らないだろうと。記念写真を撮ったりしてもですね。

だものですから、ストーリーのサイドストーリーというのがあるのですよ。例えば、バスにジョイランチというのが来て、弁当がおくれるシーンがあったじゃないですか。そのジョイランチがなぜおくれたかという、そのサイドストーリーですね。これは7本あるのだそうですね。それを全巻見ますと50分かかると。50分というのは、赤湯から白鷹まで行くちょうどいい時間なのです。ですから、そのサイドストーリーは、フラワー長井線に乗らないと見れないのですよと。それから、途中で女子高校生たちが弁当をひっくり返すシーンがありましたよね。それを略してこぼっちゃ弁当ということで、車内で売ったらどうだということとか、そういうおもしろい企画がいっぱい出るのですよ、いかに乗せるかということで。

それから、今、この「SWING GIRLS」のホームページの書き込みがあるのですが、掲示板、BBSという。この書き込みの中に、どうせその映画を見るならば、フラワー長井線に乗ってから見ようという、そういう奇特な方もいるのですよね。で、この間は、福島浜通りから雨の中2時間かけて来て乗ったという書き込みがありました。だから、陰に陽に、これは後押しになっていることは間違いないのではないかと私は思っているわけです。

ですので、167館同時上映なのですが、ロードショーの期間にどれだけ見ていただくということが大事だと思うのですよね。このフィルム1本をコピーしますと、五、六百万円かかるのだそうです。100本もコピーすると5億から6億かかるということなのです。では、ロードショーが終わってから借りて見るということは、その反響がよければできるのだと思いますが、できればこの置賜三市五町なのかな

のかわかりませんが、そこで1本コピーしていただいて、順次ロードショーにあわせてその時間帯で見るというふうにしたら、それはロードショーの観客動員にカウント算入になっていいのではないかと思ったりもしております。

そんなこんな考えますと、いろいろなアイデアがいっぱい出てくるかと思うのですよね。市長の話にもありましたけれども、私ものめり込んでいくとどうしようもなくなるものですから。

これが1,050円で売っている本です。買ってきました。これが2,650円ですね。SWING GIRLSが演奏しているのを収録したサントラ盤なのです。で、これ宣伝しているわけではないのですが、これが2,500円のTシャツです。形からやはりこういうものはその気になっていかないと、なかなか見るという動機に至らないのではないかなと思います。

教育長にちょっとお伺いしますが、「ウォーターボーイズ2」というのが、きょうの9時からあるのですよ。これごらんになったことがありますか。

大滝昌利教育長 あります。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 ありますか。ぜひ見ていただきたいと思うのですが、いきなり見てもおもしろいかどうかよくわからないということもあるかと思いますが、見てほしいのですよ。この「ウォーターボーイズ」のモデルになったのは川越高校なのです。川越高校は、埼玉県でも屈指の進学校なのです。川越高校の文化祭では、今、1万人以上訪れるのだそうですよ。入場整理券を出して、入場お断りをしなければいけないというふうになっているというような書き込みが出ております。既に観光地化されておりまして、必ずそこに「ここが「ウォーターボーイズ」のモデルになった川越高校です」と、こういうふうに戻っていくというふうになっているのですよね。

だから、そういうことが広く浅くずっとなっていると、この山形鉄道の経営に対する後押しも、結果的に私はなっていくのではないかなというふうに、つくづく感じているわけなのですが、1万人に見てもらおうプロジェクトなのかどうなのかわかりませんが、多くの人に見てもらおうためにいろいろ工夫しなければいけないと思うのですね。

ジャーナル長井に広告が載ったとおっしゃっていますが、これは白鷹町が町報に入れるものです。これは全部カラーなのですけれども、それをコピーしましたからね。こういうのが既にでき上がっているのですよ。で、ここのシーンは、白鷹町のロケになった写真が入っているのですね、ここにね。こういうものが全部今できているのです、白鷹町では。ですから、これをやはり長井市でも工夫して、市民の方にPRをしていかなければ、なかなか見ようという動機にはつながっていかないのではないかというふうに思うのですが、市長、いかがでしょうか。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 おっしゃるとおりだと思いますね。やはり熱くなっているいろ、どんどんどんあっちへこっちへと話しかけていって、やれるをどんどんやらなければいけないと。例えば商工会議所の若手の皆さんが、ロケ地ツアーというのを企画して、これにフラワー長井線利用拡大協議会も応援しようと。もちろん長井線も応援しようと。「冬のソナタ」というのは、ものすごいテレビドラマでヒットしたら、何の変哲もない雪の韓国が、ロケ地ツアーというやつでべらぼうな観光客が来たというような、そこまでいくかどうかは別にして、ロケ地ツアーなんていうのも非常に考えてやっているようでありますし、それからタスパークホテル内にも、「SWING GIRLS」の展示コーナー等をつくろうというような動きももうあると、したいと。若手の皆さんがそうやっていますから、

+

平井専務も積極的にやりたいというふうに言っておりますし、いろいろな面でPRをしていくと、みずからやっていくと。市民の皆さんに広めていくということは、大変大事だと思います。鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 時間もありませんので、最後になると思いますが、コピーをお渡ししましたけれども、山形南高等学校の学園祭で「ウォーターボーイズ」の山形版というのをやったのですね。これYBCの「ピヨ卵」なんかでも2回ほど取り上げられましたので見た方もいらっしゃると思います。新聞記事によりますと、水泳部二人なのですが、あと残りはサッカー部やラグビー部、剣道と。水泳と関係ない18人がシンクロナイズドスイミングのあれをやるわけですね。2回の公演予定だったのですが、余り押すな押すなの盛況だったものですから、4回公演したということなのですよ。

そういうふうになって、若い人が燃えるということは、すごく貴重だし、大事なことじゃないのかなというふうに思うのですよね。何もそれを長井高等学校でやれということを申し上げているのではないのですけれども、実際こういうことをやって成功したというか、話題を提供しているということがありますので、ぜひ考えてみていくべきじゃないのかなというふうに思います。山形鉄道に幾らFNの会に入って切符を買っても乗らなければ、何の意味もなさないわけですよ。ですから、いかにだから乗せる工夫をしていくかということが私は大事な視点だというふうに思っていますので、さまざまな視点があるかと思いますが、ぜひこういう側面からも取り組んでいかれることが望ましいというふうに思っております。

さっき言いました広く浅い、SWING GIRLSプロジェクトミーティングというのは、まだ1回の会合ですけれども、さっき言いました馬場さんという方が、アルタミラピクチャー

ズの社長と近々会うそうです。それで、いろいろお願いできる立場にあるということでしたので、ぜひこういうことについても、こうしてほしい、ああしてほしいということをお願いできる内容があれば考えてみていくべきでないかというふうに思います。長井とか白鷹とか川西町という、そういう狭いくくりではなくて、行政自体は今のところ合併もできませんからやむを得ないわけですが、観光とか会合とかというのは、もっと広い視点でエリアを考えて進めていくべきだと思うのですよね。ぜひそういったことを市長に、役者の素質があるというふうに褒められたわけですから、ひとつそれを取り組んでみていただくようお願いを申し上げまして、質問を終えたいと思います。

鈴木良雄議長 ここで昼食のため、暫時休憩いたします。

再開は、午後1時といたします。

午後 0時00分 休憩

午後 1時00分 再開

佐々木謙二議員の質問

鈴木良雄議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

順位3番、議席番号5番、佐々木謙二議員。

(5番佐々木謙二議員登壇)(拍手)

5番 佐々木謙二議員 午後に入りまして大分暑くなっておりますが、しばらくの間、ひとつご清聴よろしくようお願い申し上げます。

今、国は地方への補助金を削減し、見返りに税源委譲で国税の一部を地方税に切りかえる。地方交付税も改革すれば、国は非効率な